

議会だより

2023年10月25日

No. **164**



フラッグ&バルーン
— たんぽぽこども園運動会 —

コロナ禍でも財政良好（決算審査）	2
今年もやります！商品券（議案審議）	5
議会のうごき・町政を問う	6
一般質問（4人登壇）	7
第3回臨時会	11
町民の声	12

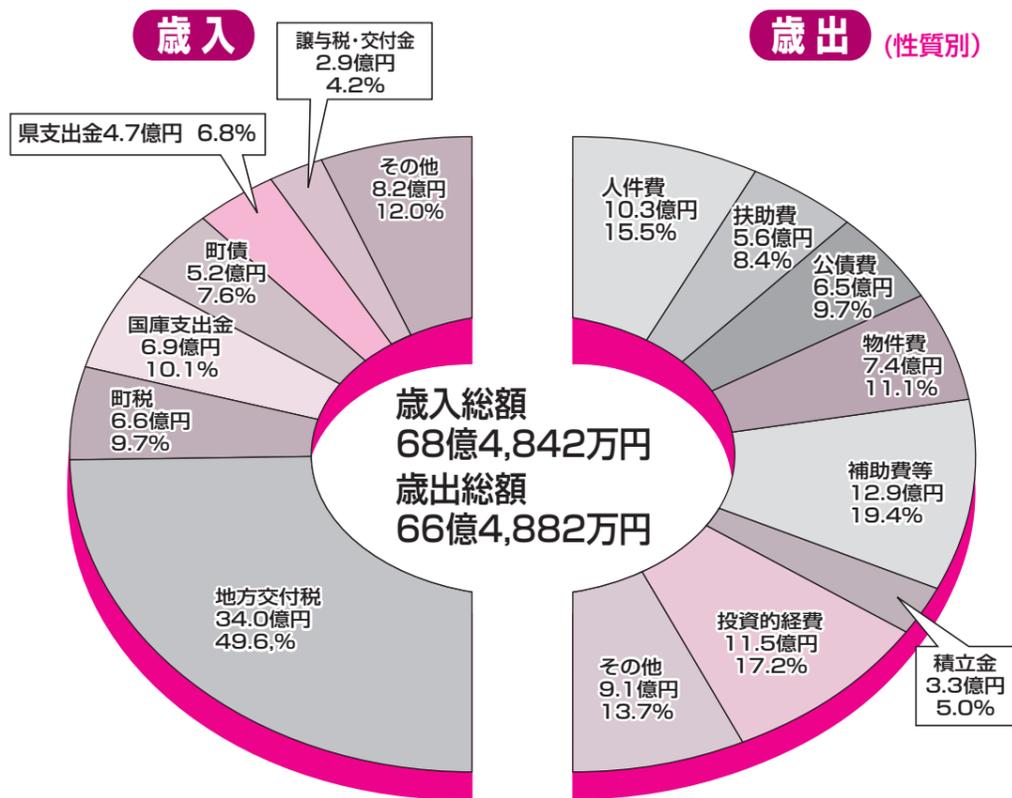
真室川町LINE公式アカウント
@mamurogawa_town

暮らしの話題 防災 新型コロナ情報をLINEでお届け！
QRコードをスマホで読み取って友だち追加してください

コロナ禍でも財政良好

さらに事業展開の充実を

◆一般会計の構成



決算審査特別委員長意見(要旨)



決算審査特別委員長 平野 勝澄

■一般会計
コロナ禍と物価高騰の状況下にあったものの、経済対策が迅速に実行され、各事業が着実に執行されている。公債費比率、将来負担比率ともに前年度より改善しており、財政指数が引き続き良好な状態を保っていることは評価できる。

・町税等は、納付方法の電子化や、未収金対策委員会の取り組みの成果により、滞納額の圧縮に成果が表れている。「ふるさと納税」は、昨年度を上回り、今後ますます関係人口の拡大につながるものと期待する。より付加価値の高い町特産品の開発と、町HP充実など、情報発信の強化を望む。

・防災行政無線の円滑な運用開始により、災害時の町民の安全確保に努めること。東町住宅分譲地につ

■特別会計
町立病院は、医療機器も計画的に更新されている。環境整備がなされている。次期「病院経営強化プラン」作成に当たっては、医師・看護師の確保や一般会計からの繰出金の圧縮、安定経営に向けた取り組みを望む。

・梅里苑は、客室トイレ改修を行ったことにより、利用者の満足度もさらに向上している。今年度完成予定のキャンパス、森林公園、観光拠点として、指定管理者の創意工夫による運営に期待する。

質疑のあれこれ

一般会計

町民税

小松健弥委員 歳入の町民税が令和3年度に対し約223万円の減だが理由は。また、不納欠損額があるが、理由は。

町民課長

個人町民税が対前年比494万円の減になっている。主要因としては令和3年産米の米価下落による農業所得の減少である。法人町民税は、270万円の増となっており、主要因は鉄鋼業の法人の業績向上による対前年比420万円余りの増額納付である。個人町民税と法人町民税の合算により約223万円の減となっている。不納欠損については、個人町民税で、死亡によりご家族が相続を放

令和4年度 各会計歳入歳出決算状況

(単位:円)

会計	区分	歳入額	歳出額
一般会計		6,848,416,746	6,648,818,715
特別会計	国民健康保険	80,349,890	79,840,031
	後期高齢者医療	94,621,452	94,302,781
	介護保険	1,109,074,739	1,091,553,269
	病院事業	1,108,086,530	1,106,821,903
	水道事業	313,596,981	309,862,097
	公共下水道事業	136,123,794	135,133,460
	梅里苑事業	57,500,206	56,551,139
合計		9,747,770,338	9,522,883,395

町営住宅使用料
高橋秀則委員 町営住宅滞納繰越分について

棄された件と国外転出により住民登録を削除した案件があり、約7万6千円の不納欠損額が発生した。

土地売却収入
高橋秀則委員 売却に至った経緯と、単価は

何う。
建設課長 借入金返済等の生活資金の方が優先されて未納になるケースがある。

総務課長 個人からの売却要請によるものである。280㎡、㎡単価が16200円である。

と判断されれば、更に要因を分析し対応を検討していく。

い。
ネットワークサービスと配信

配置、今年度は「雪と暮らし舎」に委託とあるが、その費用対効果は。

職員研修
小松健弥委員 ハラスメント防止研修、メンタルヘルス研修は対象者が決まっているのか。また、昨年度発生した事案の再発防止対策として十分なのか。

企画課長 ホームルーターは14施設で、防災センター、情報センター、歴史民俗資料館、真室川公園複合施設、秋山スキー場スキーハウス、秋山クロスカントリーハウス、ふるさと伝承館、小又地区交流センター、高齢者活動促進施設こしき、中ノ股地区交流センター、梅里苑コートジ4棟、アクセスポイント8施設は、町民体育館、総合保健施設、イベントハウス遊楽館、中央公民館、町総合施設3か所、差首鍋地区生涯学習センターである。是非活用していただきたい

姉崎園子委員 町からのネットを利用した情報発信の基準について。SNS管理運用規定を策定し、各SNSの円滑な配信と効果的な運用を図っている。発信の基準は、町主催の事業、イベントとしている。尚、発信は、各課専決によるものとし、情報鮮度を重視して町内に迅速に発信している。ボランティア団体、任意団体、イベント主催団体等のSNS配信は、随時確認しており、旧ツイッター現X、フェイスブック、インスタグラム等の町公式アカウントでシェアしている。

企画課長 河川清掃、地区内の草刈り、除雪作業の消耗品、花の植栽、お祭りや敬老会、いきいきサロンで使用

町長 ハラスメントの発生原因は、大半が職位の差や個人の考えの差によるものと思われるため、研修を充実させていく。現在行っている研修で不足である

移住定住支援業務委託
小松正弘委員 昨年は「移住定住推進員」を

菅原道雄委員 45地区40団体へ交付とあるが、その活用実績は。

地域づくり活動支援事業

今年もやります!

家計応援! 町民1人あたり1万円商品券

9月定例会

地域活性化物価高騰対策商品券交付事業 小松健弥議員 1つ頃実施予定で、運用方法は今までと同じか。

企画課長 今までと同様に町民一人当たり1万円の商品券を10月中に配布し、11月からの4か月間で利用できるものとする。少しでも家計の負担軽減を図りたいと考えている。

平野勝澄議員 現金給付のほうが使い勝手がいいのではないかと。商品券とした理由は。

企画課長 現金支給では町外に流れ、町内店舗の優遇につながらない可能性もあるため、商品券としている。今

9月定例会は、7日から13日までの7日間の会期で開かれ、町財政健全化比率の報告、各会計補正予算など町長提出案件3議案、令和4年度各種会計決算を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決されました。

◆一般会計補正予算

年度1回目の取り組みであり、今後、国の追加対策に呼応し、タイムリーな事業展開を実施していく。

灯油購入費等助成事業

菅原道雄議員 対象者は今までと変わりないか、また物価高騰分に対しどのくらい補助するのか。

福祉課長 対象者は、当初予算時と同じ450世帯で見込んでいます。令和4年度は429世帯に交付した。当初は1世帯当たり5000円、今回3000円を追加する。灯油の高騰前の単価と現在の単価を比較して増加率を出し、算出した。

秋山牧場機械修繕料

小松健弥議員 修繕内容は。

農林課長 牛にエサを給餌するパーチカルミキサーの動力源となる大型トラクタの修理で、機械の老朽化もあり修理費用が発生している。

梅里苑キャンプ場整備工事

小松健弥議員 部材高騰による追加補正か。

企画課長 追加補正要因は、伐根工における産廃処理費用増、排水機能充実のため暗渠排水部材追加とその部材

農業水利施設電気料高騰対策補助金

平野勝澄議員 いろいろな規模の水利施設があるが、どのくらいの規模までが対象となるか。

農林課長 県営事業で整備され、県の6月補正予算で既に対応されている施設を除いた、組合を組織する約100機を対象とする考えであるが、施設の数などを含めた現状を把握したく、詳細については今後検討する予定である。

子実用トウモロコシ作付け支援事業費補助金

高橋秀則議員 事業の内容は。

農林課長 県の事業で、県産自給飼料生産利用拡大体制構築事業として令和5年度から7年度まで実施される。交付単価は、10アール当たり1年目は13000円、2年目は8500円、3年目は4000円となっている。対象は町内農業法人で面積は32・73ヘクタール、栗谷沢地区、畑野地区、高沢改田、山屋地区、中村地区などで取り組まれている。

除雪車車庫改修事業

高騰の影響である。

高橋秀則議員 補正予算の内容は。

建設課長 秋山地区にある除雪車車庫の老朽化した屋根の改修を既設の屋根に新たに屋根を被せるカバールーフ工法により行うこととしていますが、設計の段階で積雪による破損が判明し、破損部分を切断する必要があるので、設計監理及び工事費用を追加補正とした。また、冬期間スクールバス2台の発着所として利用を計画しており、バスの車幅に合わせたシャッターの改修工事も必要となり追加補正とした。

菅原道雄議員 当初が2887万円に対し補正額が844万円と非常に多い。最初の見積もりが十分にできていなかったのではないかと。

購入や公民館修繕などに活用している。

菅原道雄委員 高齢者が多くなり参加できない事業も多いのでは。また地区への周知は。

企画課長 地区内の事情で参加者がそろわない、コロナ禍で活動が復活しない面など様々みられるが、区長会の会議で活用のメリットについて説明している。健康づくりなどには是非役立ててほしい。

真室川音頭全国大会補助金 **高橋秀則委員** 補助金の使途は。

企画課長 大会運営全般に使用している。SNSや区長回覧等で周知を図っており、景品の種類も喜んで頂けるものを考えていきたい。

ふるさとCM製作費 **菅原道雄委員** 題材に苦勞しているようであるが、まだまだ町の宣



梅里苑の客室トイレ

伝に力を入れるべきと考えるかがか。

企画課長 現在は新庄神室産業高校真室川校との連携を軸に製作提案と出演を同時にお願している。高校生と話し合いながら、さらに研究しながら、今年度も含め、当面の間このままで実施していきたいと考えている。

梅里苑トイレ設置工事

姉崎園子委員 客室にトイレを設置したことによりお客様の反応は。

企画課長 各客室にトイレを計8基設置し、

危険老朽空き家解体助成事業費補助金

高橋秀則委員 解体した件数は。

町民課長 住宅20棟。附属家(小屋)8棟の解体を行った。

高橋秀則委員 危険老朽空き家の対応はどうしているのか。

町民課長 定期的に持ち主に連絡をして対応をしている。

県産材利用促進事業

小松正弘委員 支出の内容は。

農林課長 県の緑環境税を活用した事業で、町内の施設に県産間伐材を活用し加工した製



釜淵保育所のテーブルとベンチ

品等を提供したもので、令和4年度は、たんぼぼこども園の花壇づくりに防腐剤加工を施した角材40本、釜淵保育所に防腐剤加工したテーブル1個とベンチ2基。町企画課が担当し設置した観光看板用の木材標柱16基をそれぞれ提供した。

野々村新田平岡線防雪柵設置事業費

舟生源氏委員 なぜこの場所からスタートしたのか。

建設課長 吹き溜まりが多い箇所を優先して設置を行った。

学校・家庭・地域の連携協働推進事業費補助金

姉崎園子委員 各学校に地域コーディネーターの配置により児童・生徒への効果は。

教育課長 開かれた学校づくりのため、地域の方々とのつなぎの役割をしてもらい地域連携事業を行っている。また、授業支援、見守り、図書整理等合わせて活動をしている。教師の多忙化が言われる中で、見守る人材がいるということは効果があると認識している。

公営塾運営経費

高橋秀則委員 英語の試験は優秀であるが算数数学の学力向上をどう考えているか。

教育課長 日々の授業が大切である。真室川町授業スタンダードを元に学校と協力しながら取り組んでいる。

新聞を活用した教育活動への支援事業費補助金

姉崎園子委員 事業の内容は。

教育課長 県が、地元新聞を活用したとき9か月分の2分の一を補助するものである。学校においては、郷土愛の醸成、読解力の向上、

日本スポーツ振興共済掛金

舟生源氏委員 共済掛金の内容は。

教育課長 学校管理下で児童生徒に事故があった際に支払われる共済掛金である。

議会のうごき

令和5年7月～10月

- 7月18日(火) 第3回町議会臨時会、町長・議長・教育長と語る会
- 19日(水) 「おかえりなさいマムロガワクジラ展」オープニングセレモニー、県町村議会広報研修
- 20日(木) 町区長会との懇談会
- 21日(金) 知事と町村議会議長との意見交換会
- 28日(金) 東北中央自動車道新庄・湯沢間建設促進フォーラム
- 8月4日(金) 第65回山形県市町村教育委員会大会
- 16日(水) 沖縄中部広域市町村圏事務組合理事・議員意見交換会
- 17日(木) 真室川まつり(パレード)、姉妹都市「古河市」交流
- 21日(月) 第3回町議会議員協議会
- 22日(火)～23日(水) 岩手・秋田・山形3県合同町村議会議長・事務局長合同研修会
- 25日(金) 新庄まつり本まつり観覧
- 30日(水) 県町村議会新議員研修会
- 31日(木) 議会運営委員会、全員協議会、議会活性化特別委員会
- 9月7日(木)～13日(水) 第3回町議会定例会
- 15日(金) 最上県勢懇話会
- 17日(日) 第48回町防災訓練及び県・町合同林野火災防ぎょ訓練
- 18日(月) 町敬老会、県立新庄病院開院記念式典及び内覧会
- 24日(日) 第35回真室川音頭全国大会
- 26日(火) 最上市町村議会議長会臨時総会、最上町議会議長会臨時総会、最上市町村議会議長・事務局長合同会議
- 27日(水)～28日(木) 全国町村議会広報研修会
- 29日(金) 町グラウンドゴルフ協会との交流会
- 10月1日(日) 第30回町民芸術祭、県児童生徒版画展表彰式
- 3日(火) 4町村(金山・鮭川・戸沢・真室川)議員交流
- 5日(木)～6日(金) 村山・庄内・最上地方町村議会議長会合同研修会
- 8日(日) 第47回東京真室川会総会・懇親会
- 13日(金) 町連合婦人会との交流
- 16日(月)～17日(火) 置賜・最上地方町村議会議長会合同研修会
- 20日(金) 県町村議会議員研修会
- 22日(日) 真室川中学校創立40周年記念式典
- 23日(月) 最上広域市町村圏事務組合同定例会
- 26日(木) 最上広域連合定例会
- 27日(金) 最上市町村議会議員研修会
- 30日(月)～31日(火) 中央要望活動

○議会広報常任委員会の開催 (9/26、10/3、10/13、10/17)

■今後の交通体系整備について



姉崎 園子 議員

町長

□公共交通の利便性向上に努めていく

議員 今後の交通体系整備についてどのようなことを考えるのか。県立新庄病院への通院など真室川駅は必要不可欠。階段をなくし利用しやすいようにすべきと考えるのがいいか。

町長 本町の公共交通である路線バスとデマンドタクシーについてだが、平成14年10月のヘルスケアセンターまわる川の開設時から、東西循環線を新たな路線として運行を開始し、全路線の起点を町立真室川病院とする運行体系とし、現在は、5路線で一日46便を運行している。デマンドタクシーは、路線バスを運行していなかった町内13地区を対象に平成26年10月から運行を開始し、31年4月からは利用地区を町内全域に拡大し、令和2年度から

は往路と復路を1便ずつ増やし、往路2便、復路3便としている。一方、本町にとっては鉄道も非常に重要な公共機関である。真室川駅から県立新庄病院への通院時など、路線バスから上り列車への乗り継ぎ、そして帰り下り列車から路線バスへのスムーズな乗り継ぎができるように、JR真室川駅の電車発着時刻に合わせて、随時、路線バスの時刻表を調整している。真室川駅で新庄行きなどの上り列車に乗り換える際は、跨線橋の階段の上り下りが必要となるが、JR東日本の移動等円滑化取組計画によるエレベーターやスロープ等の段差解消などの整備については、1日当たりの利用人数が原則として3000人以上

上の駅が対象となっているため、基準を下回る駅については、新たな設備投資が困難な状況にある。高齢者やお身体の不自由な方などには、森の停車場の窓口職員から声がけをさせていただきながら、手荷物の運搬や上り下りの補助を行うように対応していく。

議員 他の町村と協力、共同で新庄までのバス路線の構築を目指すべきと考えるのがいいか。

町長 鮭川村営バスへの乗り継ぎについては、デマンドタクシーや路線バスを、県立新庄病院まで運行することと同様で、その結果JRの利用者が現在よりさらに減少し、電車の運行本数の削減や駅の廃止に繋がる



真室川駅跨線橋

ことが危惧される。町民の皆様は、これらと併せてJRをご利用いただけるよう、広報や区長文書、ホームページなどにより周知を図っていく。今後も住み慣れた地域の中で暮らしやすさを実感できるように、山形運輸支局や町民代表者などによる「町公共交通会議」などで意見を伺いながら、利用される方のニーズに合った運行時間コースの設定を行う。

建設課長 当初からスクールバス格納の予定であったが、積算と現場確認が予算編成時期の冬間で、現場確認が十分にできず、設計の段階でバスの車両幅よりシャッターが狭いことが分かり、今回の補正対応とした。

町道支障木伐採委託料 姉崎園子議員 町道の支障木伐採委託料か。

建設課長 令和4年度の12月の豪雪により、町内で倒木により通行止めや停電などが発生している。町では、未然に防止するため東北電力と冬期間に向けた倒木対応について打ち合わせを行い、降雪前に支障木伐採等事前調査のため、7月、8月で町内全域の点検を行い、25本の支障木があることが判明した。これらを東北電力と協議

請願・陳情

案件がありませんでした。

駅前散水消雪用井戸ポンプ点検等委託料

しながら作業を進めていくための予算計上である。

姉崎園子議員 昨年度、駅前消雪施設調査委託料が計上されており、昨年度中に調査されているようだが、何故当

初予算ではなく、今回補正予算として追加されたのか。

建設課長 令和4年度に調査業務として行っているが、結果報告を受けたのが令和5年3月だったため当初予算に間に合わず、今回の予算計上となった。

町政を問う 「一般質問」とは

行政全般にわたり、町当局に対して事務の執行状況や将来における政策方針について、議員個人が問いただすものです。

(●印は要約して掲載しています)

1. 姉崎 園子 議員…………… P 7
●今後の交通体系整備について
2. 小松 正弘 議員…………… P 8
●「新庄・真室川インターチェンジ」開通による当町への効果は
3. 小松 健弥 議員…………… P 9
●真室川町教育振興計画の進捗状況は
4. 平野 勝澄 議員…………… P 10
●区長会からの要望の取り組み状況は

いづがききたい

一般質問



小松 正弘 議員

町長

「新庄・真室川インターチェンジ」開通による当町への効果は

交通量調査の結果、令和3年秋の調査と比較して33%増加

議員 新庄・真室川インターチェンジが開通してから10カ月が経過しようとしているが、町内のイベントにおける交流人口や宿泊施設の利用状況、今後の交流人口促進の施策は。

人口について、「ホワイトアスロン」では、前夜祭の花火大会に町外から800人が来町。ホワイトアスロンには200名の入込数となった。「梅まつり」は、真室川ふるさと応援団の木村佳代さんを特別ゲストとしてお招きしたこともあり、これまで最高の2万人来場。「真室川まつり」は、4年ぶりの通常開催となり、沢山のイベントで賑わった。入込数は調査中だが町内の店舗では、昨年比で20%増

とのこと。また、イベント以外でも梅里苑や森林トロピコ列車、遊具が新設された真室川公園が町内外から大変な人気となっている。更に、「おかえりなさいマムロガワクジラ展」には、7月19日のオープニングから8月末で1000人を超える来場者があり、その内県外から100人以上、県内から300人以上の来館となっている。宿泊施設については、宿泊費を半額補助する宿泊事業者支援事

業を実施したことなどにより1115人の増加、今年の4月から7月までの前年比較で36%の伸びとなっている。農家民宿についても、昨年は微増だったが、今年度は令和元年度並みに回復してきていると伺っている。

今後、関係団体との連携、住民や住民団体、事業者、ボランティア団体や行政が連携し事業展開することが重要。四季折々の多彩なイベント開催時にはインターチェンジ付近



新庄・真室川インターチェンジ入口

真室川町教育振興計画の進捗状況は

教育長

第1次教育振興計画の総括と第2次教育振興計画の策定を開始



小松 健弥 議員

議員 今年度が第1次教育振興計画5年間の最終年度である。その大半がコロナ禍のため想定外の事態になってしまったが、総括のタスキミングであり、次期教育振興計画の策定を開始する時期でもある。グローバル化した社会情勢の変化や、教育環境の進展、価値観の多様化、少子化と教育現場に関する難題が山積しているが、人が生き抜いて行くうえで、日々の学びと経験の積み重ねが大切である。教育振興計画が大人も子どもも含めて育てていくという観点から大変重要な位置づけになると考える。第1次教育振興計画の総括と、次期教育振興計画への思いやビジョンは。

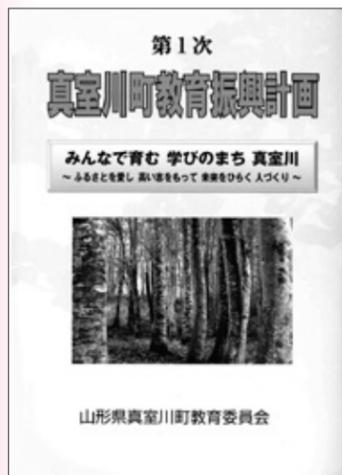
教育長 学校、家庭、地域の教育力の向上とそれぞれが連携・協働した教育の実現が必要であると認識している。第1次計画は取り組みの基本方向を、学校教育、子育て支援、生涯学習の3つに分類し、13の基本方針の下に28の施策を定めている。その中でも真室川町らしい特色ある施策を7つの重点施策、虹のプランと位置づけ、真室川町ならではの教育を推進してきた。期間中コロナ禍の影響もあり、交流や体験活動の停滞があった一方、学校教育では臨時休校があったものの国のGIGAスクール構想が加速化し、ICT教育に係る環境が整備されるなどの成果があった。制約された中ではあったが、計画に掲げた教育施策に着実に取り組み、概ね評価できるものと総

括している。次期計画については、8月に10名の策定委員会委員を委嘱し、第1回会議を開催、委員会の立ち上げを行った。9月下旬予定の第2回会議以降、計画本体に関する審議を進め、今年度内に次期計画を示す予定である。第1次計画の施策・事業の成果を評価したうえで、課題解決に向けた今後目指すべき方向性や重点的取り組みをまとめ、評価できたところは継続性を持ち踏襲し、町総合計画、町教育大綱

その他の質問

●児童生徒の熱中症対策状況は

教育長 水分補給や休憩はもとより「暑さ指数計」を活用し、適切な判断を行う。活動前、活動中、活動後の体調確認と活動終了後の十分なクーリングダウンを行うなど、全学校職員あげて熱中症事故防止に努める。



第1次教育振興計画



平野 勝澄 議員

区長会からの要望の取り組み状況は

町長

国・県への要望を継続していく

議員 区長会・衛生連と議会との交流懇談会で、要望3点(①八敷代以北の県道の改良、

②敬老会補助金の増額、③名子坂T字路付近の道路改良)について意見交換を行った。町としての、これらの要望についての取り組み状況は。

要望活動や、町単独でも議会と一体に陳情を行うなど、あらゆる機会に要望活動を行っている。

要望活動を継続していく。

く県に要望していく。

①八敷代以北の県道の改良は、県のヒアリングや最上総合支庁長との意見交換の際には、現在整備中の関沢工区や釜淵・八敷代間を優先するとされているが、及位駅東側に東北中央道のフルインターが整備されることから、農・林・商業など多角的な分野から道路整備の必要性を訴え、

③名子坂T字路付近の道路改良については、国道344号線の横断歩道のカラー標示や側溝へのフタ設置による道路交差部幅員の確保などの対策を講じてもらい、町でも、くもり防止機能付カーブミラーへの変更など安全対策を行っている。さらなる道路改良には住宅の移転補償や、橋や護岸の整備を含めた大規模な法線の変更が必要なたため、今後も粘り強

く県に要望していく。

く県に要望していく。

その他の質問

●新庄神室産業高校真室川校への支援について

町長 地域の活力源でもあり、県教委と意思疎通しながら、存続に向け引き続き支援していく。



砂子沢の名子坂T字路

第3回臨時会

会期：7月18日

快適な学びをサポート

教育施設の長寿命化推進

第3回臨時会は、7月18日に1日間の会期で開かれ、町長提出の契約案件1議案を慎重に審議し、原案のとおり可決されました。

◆真中給排水管及び浄化槽更新工事請負契約

高橋秀則議員 工期と教育活動への影響は。教育課長 約6か月間の工期であり、既設管の近くに新設管を敷設し切り替える工事である。水やトイレの使用など若干の制限はかかるが、安全を第一に考え、音の出る工事については、時期やタイミングなど学校側と十分に協議をしながら工事を行う。

小松健弥議員 工事の内容やどういってお金が使われるのかなど生徒へ説明はするのか。自分たちの学び舎に係ることであり、知識や経験値としてもプラスに

なると思うので、説明する必要があるのでは。教育課長 学校を経由して工事など生徒に知らせている。菅原道雄議員 浄化槽は40人槽のようだが大きさは問題ないのか。予算の財源は。教育課長 浄化槽の処理人数に係る算定基準があり、現在の生徒数及び教職員数で算定した結果問題がなかった。財源については、8600万円のうち、給排水管更新には国の補助金があり、1000万円程度の補助金と残りは教育債の起債でまかない事業を行う。

県外視察研修報告

7月12日～13日、総務文教・産業福祉常任委員会合同で先進地行政視察を行い、福島県内の2町の取り組みについて調査研究を行いました。

■福島県浪江町 「再生可能エネルギー導入推進の取り組みについて」

浪江町は、東日本大震災からの復興に向け、「エネルギーの地産地消」を掲げて水素を活用した再生可能エネルギーの導入推進に取り組んでいる。山形県でも令和2年8月に「ゼロカーボンやまがた2050」を

宣言しており、令和5年5月末現在、県内21市町が「ゼロカーボンシティ」を表明している。

当町においても、再生可能エネルギー導入の可能性の検討、課題の整理・把握に努め、省エネ、脱炭素化が図られるよう取り組みが必要であると考える。

■福島県猪苗代町

「猪苗代町農産物ブランド品の販路拡大の取り組みについて」

め海外まで販路を拡大しながら、生産者の経営安定や所得向上に向けた取り組みを行っている。当町においても、米・食味コンクールなどでも優秀な成績を収めている生産者もいることや、高品質な米、園芸作物が生産されていることから、ブランド化や海外も視野に入れた販路拡大について、大いに期待できるものと考えられる。

こうした取り組みが、生産者をはじめ商工業者、消費者、町全体の活性化につながることを期待されることから、町として今後取り組みべき課題の整理、検討が望まれる。

●委員定数 9人
・委員長 菅原 道雄
・副委員長 平野 勝澄

町民の声



ヨガ講師養成
家崎カオンさん
(山屋)

令和2年の冬に真室川町に引っ越してきました。雪が想像以上に多くてびっくりしましたが、毎朝新しい雪に覆われる景色を見ることが大好きになりました。翌年の春より栄寿大学のヨガ講師として声をかけていただき、大先輩の方々に『痛みがあってもできるヨガ』を体験していただいています。

ヨガは運動の一つと思われている方も多いと思いますが、心と体が仲良くなることで、本来の生命力を活性化させるための方法なのです。そんな、がんばらないヨガをより多くの方に知っていただきたいと思い、この夏に『まむろがわヨガ部』を結成しました。身体的なヨガはもちろんですが、心のヨガとして体の延長線上に環境を考えることも提案しています。今年のさなぶり手仕事まつりではエコーアップを販売しました。町民一人ひとりの健康としあわせが集まって、その実りが町の発展となるようなハタラクキをしていきたいと思っています。



傍聴お待ちしております

● 次回の定例会は **12月**です

議会中継や、過去の本会議議事録は町ホームページでご覧いただけます。

URL
<https://www.town.mamurogawa.yamagata.jp/category/bunya/gikai/>



お問い合わせは

議会事務局まで
☎62-2220 (直通)

議会広報常任委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
平野	小松	姉崎	舟生	小松
勝澄	正弘	園子	源氏	健弥

暑かった夏が過ぎ、朝晩めっきり寒くなりました。例年のない猛暑が続き、農作物への影響はいかがでしたか。先月、全国町村議会広報研修会に出席し、町民の皆様にご覧いただき、紙について勉強してきました。さらに読みやすく、分かりやすい広報紙づくりに取り組んでまいります。コロナが5類に移行しましたが、うがいや手洗い等引き続き感染対策を心掛けてお過ごしください。

(姉崎 園子)

編集を終えて